

平成28年度宮沢賢治記念館運営審議会会議録

1 開催日時

平成28年7月6日（水） 午前10時～午前11時10分

2 開催場所

花巻市矢沢第1地割1番地36 宮沢賢治記念館多目的ルーム

3 出席者

(1) 委員7名（全員出席）

中島健次委員、高橋則子委員、鈴木守委員

晴山ノリ委員、小原節子委員、紺野佳子委員、多田章委員

(2) 事務局4名

久保田生涯学習部長、鎌田館長、牛崎副館長、滝浦上席主任

審議会に先立ち、久保田生涯学習部長より委嘱状交付

4 会議の概要

(1) 開会 鎌田館長

(2) あいさつ 久保田部長

(3) 会長、副会長（職務代理者）選出

会長に中島健次氏、会長職務代理者に高橋則子氏を選出。

(4) 会長あいさつ 中島会長

議 事

①平成27年度事業報告について

牛崎副館長：資料説明

中島会長：入館者数について一喜一憂する必要はないと思う。平成24年度の入館者数が多かったのはなぜでしょうか。

牛崎副館長：修学旅行先を福島にしていた学校が震災後岩手へ旅行先を変更したことによるものです。

中島会長：遊歩道（階段）の利用はどうでしょうか。

鎌田館長：「賢治さんへの道は遠い」と言われます。まっすぐな階段なので「雨ニモマケズ」の詩を1段ずつ設定しました。

この間熊が出たので1時期閉鎖したんですけれども、階段をずっと上がって最後に胡四王山を登ってくるという、車道よりは少し安全かなというところ

ろもあります。ただまっすぐで休むところも何もないので、寄るところがあればよかったと思います。雨が降ったときは非常に喜ばれて屋根がありますので降りるときは便利だといわれます。

②平成28年度事業実施計画について

牛崎副館長：資料説明

高橋委員：セミナーのことで。出前講座ということでこちらの資料を見せていただいて、昨年度よりも倍ぐらい依頼校があるということで特に中学校さんは昨年1校だったのが今年は5校になっている。中学校が増えたということはすごくうれしいなと思います。中学生は賢治を知ってもらう一番大事なときじゃないかなと思います。

私、先日石鳥谷中学校に「鹿踊りのはじまり」を読むので行ってきました。やはり「鹿踊りのはじまり」を読むだけでなく花巻農業高等学校の生徒が鹿踊りを舞ってくれました。そうしたらやっぱり中学生の目の輝きがぐっと違ってきて、どちらの先がいいのかはよくわかりませんが、やはり実際に高校生がやっているという出前もしてもらったりしてタイアップするとすごくいいことであると思って帰ってきました。

中学校に行って読むと難しいですね、読み方が悪ければ寝てしまうし、やっていて難しいなって思いますけれど、1番受け取る量は小学生よりもはるかに大きいので、増えてよかったと思います。小学校も昨年よりずっと増えまして、今年は（生誕）120年の記念が入っているせいでしょうか。

鎌田館長：実は（過去）3年開催していない学校を訪問しました。あとは2月の校長会議のときに旅費も記念館もちだからぜひ、という風をお願いをしました。

中学校の開催はなかなか難しいとは言われたんですけども、講師の謝礼も旅費も記念館もちであるということで押しました。

中島会長：せっかくですから各団体から、活動部分や120年の事業あればお知らせいただければと思います。

鈴木委員：当会では毎月1回例会を開いているのですが、話題はやはり多岐にわたるのですが120周年のことを意識して取り組もうとしているんですけども、具体案を考えるとなかなか難しく苦慮しているところです。

晴山委員：石鳥谷では「葛丸祭」があります。ずっと続いているのですが、そのときに「賢治さんへの手紙」を中学生小学生そして青雲高校の子供たちに賢治さんの童話を読んでもの感想をいただいているんですけども、子供たちの考えがこのくらい違うのだな、賢治さんはどういう風に受け止めるかな、という1人1人の感想がとてもよくて毎年続いております。たいへん好評で去年は40人集まりました。

これからも続けていきたいなという風に思っております。

小原委員：まだ3年で会員が22.3名でして、毎月第2水曜日14時から16時まで東和図書館の視聴覚室で活動をやっています。

4月から9月10月あたりまでは賢治ゆかりの毘沙門さんに行ってきました。

この間は大迫の早池峰と賢治の展示館に行きまして、浅沼会長さんのお話を聞きながらお昼も一緒にいただきながら、大迫町も賢治がけっこう歩いていらしたのだということを知りましたし、あとは丹内山神社に行ってきました。

今月13日には石鳥谷の方々をお迎えして、賢治の会の人たちで交流を持ちました。

今パソコンだとか機械を通してやる若い人たちが増えて中学生への出前セミナーですか、本当に今の子供たちは、活字で本を読んで素朴な部分をカットされてみんな目で見えるようになっている。人を殺してみたかったとか自殺者が多いとか私たち60過ぎた者よりも、小学生中学生に働きかけていくようにしていけたらいいなと私は思っています。

今会長は、ちょっと体を壊されて休まれておりますけれども、とても素朴で一生涯懸命考えていらしてその方を中心に動いております。花巻に住んでいて東和の会に入っている方もいますし、石鳥谷の事務局の方さんは東和の会と兼務されています。

紺野委員：学校を訪ねてセミナーを開催してくれているということは非常に素晴らしいことであると思います。私たちも事業で全部の学校を歩いて校長会も通して宣伝したのですが、こういうことを分かってもらえるということは難しいですね。それでもめげずにやらずにやらないですね。

今度7月16日に記念事業をやるんです。宮沢賢治生誕120年ということと設立記念を兼ねて文化会館でコンサートを開きます。その中心になる曲が「春と修羅」で歌う者が詩の中身を分からないわけにはいかない、というので講師をお呼びしてみんなで詩を勉強して歌うことにしました。曲をつけたのがユネスコの関係者、それからピアノ伴奏もユネスコ協会の関係者で色々力を寄せ合いながら何とか今年はそれをやろうというところです。

多田委員：私は賢治の会のような活動は何もやってないのですが、違う視点でちょっとお話させていただければと思います。

今年は国体もありますし、生誕120年ということでお客さんがけっこう来るのではないかと思います。先ほどの報告の中にもありました、ボランティアさんの解説は大丈夫なのでしょうか。音声案内はあるのですか。

鎌田館長：音声案内はないです。

多田委員：団体でおいでになる方もあるでしょうし、個人のかたもあるでしょうし、それぞれ過ごし方もあると思いますけれど、個人的に色々聞きたいなと思っている方への対応はどうされているのでしょうか。

鎌田館長：学芸員が2人おりますので対応はさせていただいております。しかし、多目的ルームでしか使えないので1団体10人くらいが限度です。100人くらいになると2つに分けてもらわなければならなくなったりということがあります。

また、展示室そのものもあまり広くないので、50人連れて歩くか、となる
となかなかそれも難しいところがございます。そのため、ここ多目的ルームで
導入映像をご覧いただきまして、あとはご自由にご覧くださいという状態です。
できるだけ団体の申し込みがあった場合は「解説いただけますか」ということ
は聞かれますのでそういう時はきちっと学芸員が勤務してその時間対応する
ようにはしておりますが、物理的に難しいときがあります。

中島会長：今年生誕120年ということで手帳ですね、100年のときは生原稿、もの
すごい数の人が全国から来ました。手帳となるとかなりの来館者が予想されま
すが、宮澤家から借りるのでしょうけどもセキュリティはおそらく万全を期
しているのだらうと思いますけど、宮澤家のことなのどうかと思いますが、普
段どういう管理しているのでしょうか。

鎌田館長：学芸員がついて美術専用運搬車で借りに行きますので、責任もって運搬する
と学芸員も申しておりますので。巡回展示に出ていることもあるのでそれなり
に保管されているようです。

中島会長：期間がすごく短いし、人が押し寄せる可能性がありますよね。

鎌田館長：場所が狭いですし、監視カメラと監視員を置くことにしていました。大変か
なとは思っています。

中島会長：万全を期してもらうようにお願いします。「アザリア」についても同様です
ね。

牛崎副館長：当初のリニューアル後の目論見と実際開館してみてもの結果がそのとおりに
ならないというのがいくつか指摘されてですね。たとえば中央の映像なんか
はですね、暗い中にポッと浮かんでいてそれを押すと映像がはじまるという
その能動的な出会いの場だ、ということでしたけれども、お客様どっと入っ
てくるのでずっと押しである状態になってしまいます。

去年のオープン以来「何が映っているか」とか、少しずつ指摘があったも
のは直したり、付け加えたり分かりやすくしないとだめだというのが当初の
狙い通りにはいかないものだということがあります。

ですから「雨ニモマケズ」の複製手帳も今の展示場所にはなかったわけ
ですよね、あれも入ったところに動かすようにしていますが、お気づきの点で
すとかここはどうなのとかこちらに指摘していただければ、できる所からわ
かりやすくしていきたいなと思っています。

そのほか多いのが、今までは童話のコーナーが常設展示にあったんですけ
ど、サロンのほうに移ってから気づかない人が多く、「童話が見られなくな
った」「賢治さんの作品が味わえなくて残念だった」とノートに書いてある
のがあるんですけどそれらは全部ひとつの映像を見て作品を味わうコーナ
ーもあるので紹介の仕方だとは思いますが、お気づきの点ですとかこれから
でもご指摘いただければと強く思っております。

中島会長：確かに慣れたせいかな前の展示に安定感があった。今はIT技術を駆使してい
てついていけない部分が私にはあるが、慣れれば評価も定まってくると思う。

牛崎副館長：あと階段に「雨ニモマケズ」の全文をつけたんですが、全部で367段の階段なのですが「雨ニモマケズ」に合わせた段数だ」とブログに書いている人がいて、それが広まってきて、違いますので。

鎌田館長：たまたまやったら一緒だったということです。

1、2、3と勘定するよりはいいかと思ひ、詩を1段1段に貼ったのです。

中島会長：ここの記念館に限らず美術館もそうですが、あまり人が入っていない閑散した時期に行くとはすごくいいんですね。中に紛れ込むと雰囲気的にじっくり味わえない、痛し痒しの部分だと思いますけれども。

高橋委員：宗教のところは何もなかったのですが、今後何か展示する予定はあるんですか。

牛崎副館長：あそこの宗教のところは前映像流していたのですが、DVD そのままであれば問題ないんですけども、加工したものはだめだという指摘がありまして、それであそこの映像は当初のあとなくなっているんですね。

そこのコーナー行かれると分かりますが、狭いんですね。当初よりも壁面から離したりしたのもあってライトで暗くなっているところもあって課題の場所になっています。

鎌田館長：展示台がもうすこし動くようになっていけば良かったのですが。動かないです。別のもの展示しようかって話になったのですが、アンカーがかかっているので、動かすことができず、業者と交渉中でございます。

牛崎副館長：宗教コーナーの充実は図りたいと思っているのですが、業者との交渉中でございます。

高橋委員：早池峰と賢治の会10年になります。賢治さんは現場を見て作品を書いているようなことで、私たちは猫山という山非常に貴重な山なのですが、ここに年1回春先と秋2回行くようにしております。そして早池峰山も今課題になっておりますけれども河原の坊からのルートが登れない状態になっています。その話は前々から崩れているという話はあったのですが、今回登山道のほうに石が崩れているということで何ともしようないです。

今後どのようにしていくか課題なのだと思います。今年度もずいぶん要望がありまして、現地に行って、作品を読み、何かすることをひとつの目的にしています。

小原委員：猫山というのは猫底地区のことなのですか

高橋委員：違います。猫底というのは折壁地区になります。あそこの石は非常にかたくて、何億年前という早池峰山ができたときの石が残っているところです。

小原委員：浅沼会長さんのお話では猫底が注文の多い料理店の舞台になったんじゃないか、とおっしゃっていました。

高橋委員：かもしれないということですね。賢治さんが猫底に行ってきたということを直接書いているわけではないのですが、歌はあるようです。猫底というよりも折壁という地域に行って、そこの作品はいくらか残っているようです。

中島会長：賢治記念館は情報ステーションの場になるのしょうから、いろんな情報を

お寄せいただいて全国から来た方が交友関係広がって大迫や東和にも足を運ぶようになるのではないかとおもいますね。

鎌田館長：何か企画があつてチラシ等をお寄せいただければ配置いたします。先日八幡のコミュニティ会議さんで田んぼアート賢治の作品案内を置かせてくれ、とおいでになりました。当館にも置きますのでお寄せいただければと思います。

④その他

多田委員：(童話村の) ライトアップ5月に行ってみたのですが、すごくきれいで出店もありよかったと思うが、お客さんが少なかったです。

久保田部長：寒かったですし、ライトアップだけ見て帰る人もいたようです。6月はお客さんも増えましたし、売り上げもよかったことを聞いています。

今月は16, 17, 18の3日間です。

鎌田館長：私たちもここのナイトミュージアムが終わって7時ですのでこれから童話村へどうぞ、と案内しています。今まで6時7時明るかったのでイメージ的にどうかなと思っていましたが、これからの時期はいいのではないのでしょうか。

小原委員：(ライトアップ) ものすごくよかったです。けっこうお客さんいましたよ。

鎌田館長：8月は20日からの予定だったが急遽11, 12, 13, 14とお盆中にもライトアップだけやることになっています。ぜひ帰省された方がいらしたら、童話村へ案内していただければと思います。

久保田部長：どんぐりのモニュメントは日中でも反射してきれいですから、夜間のイメージがありますが、日中でもきれいに見えますよ。

⑤閉会 鎌田館長 11時26分閉会